

第107回 埼玉県内企業経営動向調査－2019年4～6月期－

調査対象：県内企業 553社 調査方法：アンケート方式（5月中旬 郵送回収）
 回答企業：198社（回答率 35.8%） 業種別内訳：製造業 112社 非製造業 86社
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2019年2月12日	110.50	20,864.21
(今回) 2019年5月13日	109.75	21,191.28

概況

埼玉県内企業の業況感は、悪化している。今回調査(2019年4～6月期)の業況判断BSIは、-12と、前回調査(1～3月期)比12ポイント低下、2016年4～6月期以来3年振りのマイナス幅となった。

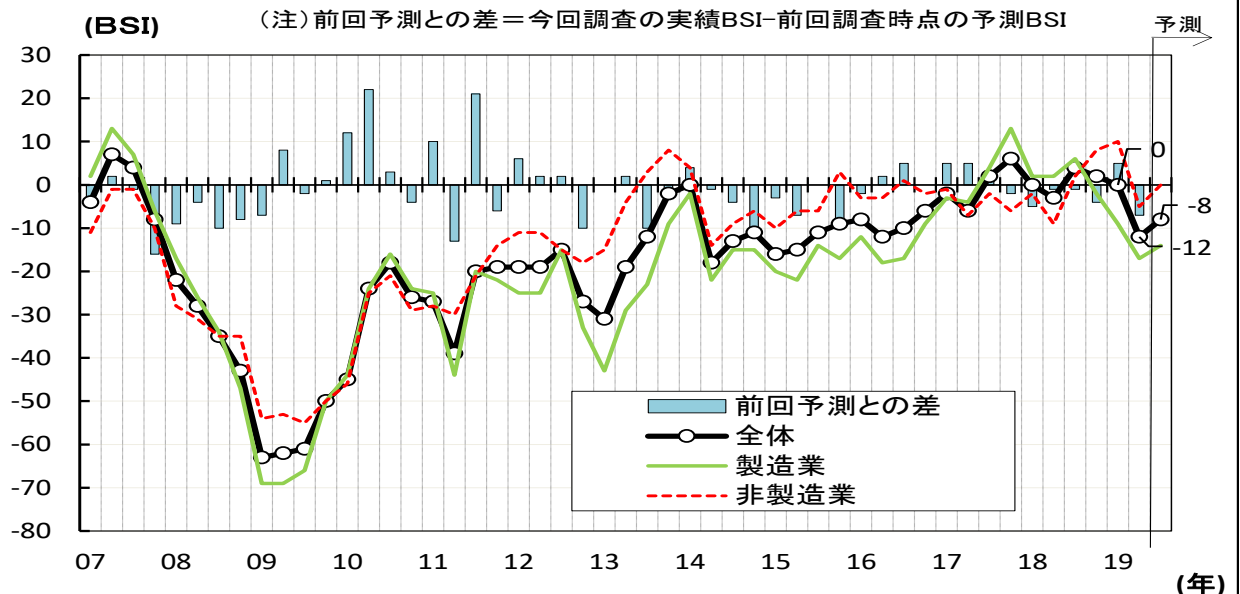
規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員100人未満）はマイナス幅が拡大し、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）はプラスからマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業はマイナス幅が拡大している（前回-9→今回-17）。紙加工品等は、原材料コスト上昇分の販売価格への転嫁から回復しているものの、金属製品、一般機械では、受注・生産の減少からマイナスに転じている。また、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスでは、企業の設備投資スタンスの慎重化やスマートフォン関連部材の生産調整の動きなどから、マイナス幅が拡大している。

非製造業は、住宅建設、卸売、小売の悪化からマイナスに転じている（前回10→今回-5）。

先行き(2019年7～9月期)の業況判断BSIは、-8と停滞が続く見通し。業種別にみると、製造業では、鉄鋼・非鉄金属、一般機械器具、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスなどで米中貿易摩擦の影響などを懸念し慎重な見方にある。一方、非製造業では、消費税引上げ前の駆け込み需要期待などから住宅建設、卸売が持ち直す見通し。

図表1. 業況BSIの推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~ マイナス幅が拡大 ~

埼玉県内企業の業況感は、悪化している。今回調査(2019年4~6月期)の業況判断 BSI は、-12 と、前回調査(1~3月期)比 12 ポイント低下、2016年4~6月期以来3年振りのマイナス幅となった。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)はマイナス幅が拡大し、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)はプラスからマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業はマイナス幅が拡大している(前回-9→今回-17)。紙加工品等は、原材料コスト上昇分の販売価格への転嫁から回復しているものの、金属製品、一般機械では、受注・生産の減少からマイナスに転じている。また、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスでは、企業の設備投資スタンスの慎重化やスマートフォン関連部材の生産調整の動きなどから、マイナス幅が拡大している。

非製造業は、住宅建設、卸売、小売の悪化からマイナスに転じている(前回10→今回-5)。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2017年		2018年			2019年			2019年 7~9月 (先行き)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	前回予想	
全体	6	0	-3	4	2	0	-12	-5	-8
規模の小さい企業	-1	3	-2	6	-1	-3	-13	-8	-9
規模の大きい企業	13	-3	-4	3	6	2	-10	-2	-7
製造業	13	2	2	6	-2	-9	-17	-9	-14
規模の小さい企業	5	6	0	8	-1	-8	-16	-10	-15
規模の大きい企業	21	-4	3	3	-2	-9	-18	-7	-14
素材型	11	6	0	0	0	-13	-16	-4	-4
紙加工品等	-9	9	0	0	-18	-56	8	11	8
化学・プラスチック・ゴム製品	8	0	13	33	0	-13	-13	13	0
鉄鋼・非鉄金属	27	-17	-11	-17	-10	-11	-25	-11	-25
金属製品	36	50	40	20	30	30	-43	-20	14
その他素材型	-9	-11	-36	-30	0	-20	-20	-10	-20
加工組立型	24	2	4	19	4	-2	-27	-14	-18
一般機械器具	21	33	29	42	58	31	-9	0	-27
電気・情報通信機械器具	42	0	9	9	-33	-25	-70	-45	-30
電子部品・デバイス	33	0	-20	45	-9	-22	-36	0	-18
輸送機械	-9	-17	-27	-9	0	-20	-20	-20	-20
精密機械	30	-10	29	0	0	29	14	0	14
生活関連型	0	-10	-6	-22	-20	-7	7	7	-33
飲・食料品	0	20	11	0	-11	13	13	25	0
印刷・同関連業	0	-40	-22	-50	-33	-29	0	-14	-71
その他製造業	-33	0	25	33	-33	-67	0	-67	0
非製造業	-6	-2	-9	2	8	10	-5	0	0
100人未満	-11	-2	-5	2	0	4	-10	-4	0
100人以上	0	-2	-14	2	15	16	0	5	0
一般建設	6	6	-6	21	6	11	13	-6	19
住宅建設	-10	-30	-29	0	-13	14	-14	0	14
卸売	0	15	0	0	15	0	-20	0	0
小売	-17	-25	-24	-5	-6	10	-21	-20	-21
運輸・倉庫	0	0	0	0	33	25	0	25	-22
不動産	-10	9	0	0	43	0	0	14	0
その他非製造業	-8	7	-7	-6	-6	13	13	13	13

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～マイナス幅が縮小～

製造業は、一般機械器具、電気・情報通信機械器具がマイナスに転じているものの、紙加工品等素材型業種および飲・食料品等生活関連型が、ともにプラスに転じている。非製造業では、ほぼ横ばいとなっている。先行きは、製造業、非製造業とも持ち直す見通しとなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	21	-13	-3	9
製造業	19	-23	-4	1
非製造業	24	0	-1	19
規模の小さい企業	15	-21	-3	11
規模の大きい企業	28	-4	-2	6

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でマイナスに転じる～

製造業は、加工組立型でマイナス幅が拡大している一方、生活関連型ではプラスに転じている。非製造業では、小売がマイナスに転じているほか、卸売でマイナス幅が拡大している。先行きは、製造業では、素材型を中心に持ち直す見通しとなっている。非製造業では、卸売、小売がプラスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	11	-13	-10	2
製造業	8	-23	-6	0
非製造業	15	0	-15	4
規模の小さい企業	7	-20	-10	7
規模の大きい企業	15	-5	-11	-4

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でマイナスに転じる～

製造業では、一般機械器具、電気・情報通信機械器具の減少から加工組立型でマイナスに転じている。先行きは、製造業では、化学・プラスチック・ゴム製品、電気・情報通信機械器具がプラスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	1	0	0	4
製造業	1	-1	-2	4
非製造業	2	2	5	3
規模の小さい企業	1	-5	1	1
規模の大きい企業	1	6	-2	7

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～不足感が持続～

製造業は、素材型、加工組立型、生活関連型ともに不足となっている。非製造業は、卸売、小売、運輸・倉庫で不足感が強まっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	-9	-4	-10	-9
製造業	-7	-2	-7	-7
非製造業	-13	-6	-14	-11
規模の小さい企業	-3	-2	-10	-8
規模の大きい企業	-16	-6	-10	-9

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業、非製造業ともに不足感が強い～

製造業、非製造業ともに不足感が強い状況にある。非製造業では、特に運輸・倉庫で不足感が顕著となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	-41	-35	-34	-35
製造業	-38	-25	-19	-21
非製造業	-44	-48	-54	-52
規模の小さい企業	-31	-32	-30	-31
規模の大きい企業	-50	-39	-39	-39

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

製造業、非製造業ともに総じて緩和されている状況が続いている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 18年10～12月期	(前回調査) 19年1～3期	(今回調査) 19年4～6月期	(先行き) 19年7～9月期
全体	8	8	9	5
製造業	10	5	7	4
非製造業	6	12	11	6
規模の小さい企業	-1	2	1	-2
規模の大きい企業	18	14	18	12

以上